



Film

Letter

to the Future



## 未来への映画便

山形国際ドキュメンタリー映画祭

2021 10.7-10.14

映画便実施日

10.9-  
10.10

10.3 予約締切

### 高校生・大学生向けプログラム

今回の映画祭では、高校生・大学生の皆さんに映画祭に参加してほしい、たくさん映画を見てほしいという想いから、無料の鑑賞プログラムと鑑賞ワークショップを行います。新型コロナウイルス感染症の影響により、残念ながら映画祭はオンラインによる上映となりましたが、このプログラムを通して、たくさんの人々、自分とは異なる他者に会い、住む場所や性別・年齢を超えたつながりを広げていってほしいと思います。私たちが互いに「話す」という行為が奪われたいまだからこそ、映画を通してスクリーンに映し出される存在の言葉や声に耳を澄まし、ワークショップに参加をする人々と話してみませんか？

### お申し込みはこちら

下記のURLもしくはQRコードより、申し込みフォームに必要事項を記入してください。  
申し込みフォーム <https://forms.gle/U7DcExAAwEBRyacN6>

映画祭事務局より、後日メールにて、作品視聴用に発行されたプロモーションコード（無料チケット）が届きます。映画祭のオンライン上映特設サイトでプロモーションコードを入力して作品の無料鑑賞手続きを行い、作品を視聴してください。詳しい視聴方法は、映画祭公式サイト（<https://www.yidff.jp/>）からオンライン上映特設サイトへ進んでご確認ください。なお、プロモーションコードの利用開始日は、チケット発売日と同じです。チケット数には上限がありますので、お早めにプロモーションコードをご利用ください。

締切：10/3（日）18:00 まで



## ◎ 作品鑑賞／オンライン上映

高校生、大学生の方は、申し込みをすることによって以下の3本の作品を無料で鑑賞することができます。今回は、人々が「話す」ことにフォーカスした作品をオンライン上映します。青春期に誰しもが経験する親との摩擦、恋愛、将来への不安。国境を越えた人々が集まり、自分たちの歴史や文化について交わされる議論。そして、未来へ向けて私たちが生きる

ために届けなければならないメッセージ。映画の言葉に耳を傾け、語る姿に目を向ければ、悩んでいることが自分一人ではないこと、他人を避けて人が生きることは難しいこと、離れていても考えなければならないことがあることに、きっと気づくはず。作品は、1本でも3本でも構いません。自分の関心が向く映画を見てみましょう！ \*作品はすべて日本語字幕が付きます。



### 若き孤独 / Young Solitude / Premières Solitudes

配信：10月10日（日）11:30-13:10

フランス / 2018 / フランス語 / カラー / DCP / 100分 監督：クレール・シモン

パリ郊外のイヴリー=シュル=セヌ市。ロマン=ロラン高校に通う10代の若者が、二人組、三人組といったさまざまな組み合わせでそれぞれの家庭環境や両親との関係、初恋、将来の夢を語り合っていく。孤独であること、そしてその状況を誰かと共有できること。不安や憧れ、悲しみや情熱といった感情が、カメラを通して引き出されていく。当初は、参加する高校生と短編映画をワークショップ形式で制作する予定だったが、クレール・シモンは方針を変え、最終的には長編ドキュメンタリー作品となった。「ひとりであること、それは良くもあれば悪くもある。私たちは何かを探し、議論するのだ」（クレール・シモン）。



### 言語の向こうにあるもの / Beyond the Language

フランス、日本 / 2019 / フランス語、英語 / カラー / デジタル・ファイル / 97分 監督：ニシノ・マドカ

配信：10月10日（日）17:30-19:07 10月12日（火）16:00-17:37

パリ第8大学の「外国語としてのフランス語講座」の授業風景。文学とジェンダーという2つのテーマを通して、国内外から来た学生たちによる自由な討論を描く。



### 語る建築家 / Talking Architect / 말하는 건축가

韓国 / 2011 / 韓国語 / カラー / デジタル・ファイル / 95分 監督：チョン・ジェウン

配信：10月9日（土）15:00-16:35

建築家のチョン・ギヨン（1943-2011）は、大腸がんと告知された後でさえ、イルミン美術館の建築に関する展示や、後進を指導するなど、多忙な日々を送る。建築の公共的価値と倫理がその主な関心事であり、建築家は誰のために働くべきか、建築は社会の中でどのような道具であるべきかを身をもって示す。彼は、建築の限界を知り、それを崇拜しない。仕事や人々との対話を止めることないが、彼に残された時間は少ない。

## ◎ オンライン映画鑑賞ワークショップ

どのようにして、人は他人に気持ちを伝えることができるのか？

フランスの高校2年生が直面する不安や悩みを映し出すドキュメンタリー映画『若き孤独』（監督：クレール・シモン、2019）を鑑賞し、監督の視点、演出の手法について話をしながら、映画への理解を深めます。映画のなかに、何が見えて、何が聞こえるのでしょうか。そして、私たちはどのように感じるのでしょうか？他人に自分の気持ちを伝えるための手がかりが、クレール・シモンの映画にはあるはず。このワークショップでは、

様々な人が集まり映画を見た経験を話すことによって、これまでとは異なる映画の楽しみ方を発見していきたいと思えます。けっして難しいワークショップではありません。普段から映画をたくさん見ている人も、ほとんど映画を見る習慣のない人も、まずは映画を観て、感じたことを具体的に言葉にしてみるからスタートしましょう。

対象作品：『若き孤独』（監督：クレール・シモン、2019） 日時：2021年10月10日（日）13:30-15:10（100分）

\*参加を希望する方は、必ず山形国際ドキュメンタリー映画祭2021で配信される本作品を鑑賞した上でワークショップに参加してください。

定員：20名程度 対象：主に高校生、大学生 \*中学生で参加を希望する方は、ご連絡ください。 使用言語：日本語 参加方法：Zoom

\*申込者の方には、後日メールにて、当日に使用するZoom URLを送ります。

ファシリテーター 土肥悦子・土田環（YIDFF）

土肥悦子 シネモンド代表、一般社団法人こども映画教室代表理事。ミニシアターブーム全盛期の1989年にユーロスペースに入社、アッバス・キアロスタミ、レオス・カラックス等の作品買付・宣伝を担当。1998年に映画館「シネモンド」を金沢に開館。2004年から「こども映画教室®」を立ち上げ、映画の魅力を全国に広げ続けている。